さちが丘小学校　学校だより

若　竹

３　月　号
令和５年２月２８日
横浜市立さちが丘小学校
校 長　　高浜　正太郎
TEL.361-0777　FAX.361-0787
WEBページ　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/

子どもたちそれぞれの成長から

校長　高浜　正太郎

日中の暖かに春の兆しを感じる頃となりました。校舎前にある梅の木も見ごろを迎えました。明日からは３月となり、それぞれ現学年でのまとめの時期となります。

２月 13 日（月）に、３年ぶりに本校６年生が国会議事堂を見学することができました。子どもたちは、その重厚な造りに自然と厳かな気持ちとなり、熱心に見学していました。その後、お台場に移動して日本科学未来館を見学しました。そこでは見学や体験を通して、宇宙のことや地球上の生命と環境のつながりなどを考えるよい機会となりました。

さて、６年生の学校生活での出来事としては、総合的な学習の時間に SDGs の 17 の目標から子どもたちがそれぞれテーマを設定して、調べ学習を継続して行ってきました。その集大成として、５年生に向けて発表会を実施したり、調べたことを動画にまとめて全校に向け放送したりする取組を行いました。他学年の児童にとっては、持続可能な社会の在り方について学ぶよい機会になっていました。

今年の６年生も、さち小のリーダーとしてのバトンを昨年度の６年生から引き継ぎ、４月から張り切って下級生の手本となるような行動を心がけてきました。ペア遠足やさちフェス、委員会、クラブ活動などを通して、最高学年としての自覚を一人ひとりがもち、その役割を果たしてきました。また、日々の学習活動や鎌倉遠足、日光修学旅行などの行事を通して、学年や学級の仲間たちとの絆を深めてきました。卒業式まであと 17 日となり、いよいよラストスパートです。

また、１年生も大きく成長しました。４月には６年生にいろいろと教えてもらっていた子どもたちが、２月には幼稚園や保育園の子を招待して、優しく丁寧に校舎内を案内してあげたり、ゲームやレクレーションをして楽しませてあげたりしていました。

この１年間で、どの学年の子どもたちも確実に成長していることを実感します。その成長は子ども自身の学ぼうとする意欲が一番の原動力となっているはずです。しかし、子どもを支えている周囲の大人の存在も忘れてはなりません。学校・家庭・地域が連携・協働していくことで、さらに伸びようとする子どもたちを支えていくことができることでしょう。

報道等によりますと、新型コロナウイルスの感染症法での位置づけが２類から５類に引き下げられることに伴い、マスクの着用についても国の方針が大きく変わろうとしています。日常の学校生活や来月に予定されている卒業式など、本校としての対応については、今後改訂される横浜市のガイドラインをもとにして、決まり次第お知らせいたします。

本年度も残すところ１か月となりました。保護者・地域の皆様には、本校の教育活動に対してご理解、ご協力いただけましたことに、心より感謝申し上げます。次年度も引き続き、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。